

# 布施真空株式会社

大阪府羽曳野市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 3次元表面加飾工法・装置の開発製造販売によるめっき・塗装工法の代替と製品機能向上

- 専門誌への投稿、講演、展示会出展による啓蒙や、公設試・メーカーとの共同開発により付加価値向上
- 装置自体が革新的であるだけでなく、顧客への積極的な製造ノウハウ提供や素材メーカーの紹介も行う
- 顧客（製造現場）、装置メーカー、素材メーカーの3者がコラボするビジネスモデルを構築

### 企業基本情報

所在地	大阪府羽曳野市駒ヶ谷 2-103
電話/FAX	072-950-4141/072-958-3125
URL	http://www.fvf.co.jp/index.html
代表者	代表取締役社長 三浦 高行
設立	1956年
資本金	8,000万円
従業員数	72人



### 会社概要

真空成型機の開発製造販売の事業からスタートした企業。長年の研究開発の結果、従来の真空成型機を進化させ、真空孔を必要としないNGF成形を開発。さらに、この技術を応用し、3次元表面加飾工法（通称TOM工法）を開発し、本業界において国内外NO.1の占有率と技術力を持つ。成形装置の製造販売のみならず、フィルムの開発や加飾製品の製造販売も行う。TOM工法を用いた製品は大手自動車メーカー、家電メーカー、住設メーカーにも多数採用されている。



会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### ▶▶▶ 専門誌への投稿、展示会での講演、公設試等での技術分析活動

同社が開発したTOM工法に関し、専門誌への投稿や専門展示会への出展・講演等、積極的な啓蒙活動を行い、付加価値の向上を図っている。また、同社保有の測定評価技術を越える技術分析等に関しては、大阪市立工業研究所等の公共機関への依頼や開発協力関係のある大手メーカーの研究部門の協力により、その技術水準を高め、付加価値向上に努めている。これらの活動は、企業の知名度向上にもつながっている。



改善打合せ

#### ▶▶▶ 装置自体の革新性。積極的なノウハウ提供や素材メーカーの紹介

TOM工法は同社が独自に開発した技術であり、業界を牽引してきた。近年、類似商品が市場に出つつあるが、他社にはない下記の特徴を有する。①顧客が装置を使いこなせない場合は、要望により同社製作の受治具（被加飾部品を支える治具）を提供。②受治具の設計ノウハウを顧客に積極的に提供。③顧客への技術指導サービスや、技術者受入れによる技術者育成も実施。④使用する素材（加飾フィルム）等に関し、素材メーカーの紹介や技術情報提供も実施。



採用例（電子オルガン部材）

#### ▶▶▶ 顧客、装置メーカー、素材メーカーの3者がコラボするビジネスモデル

同社は、TOM工法について、数件の基本特許を保有している。各種の講演会、専門誌への投稿等でこの技術をオープンにしてきた。この結果、多くのユーザによる新規用途開発ができた。本工法で使用する表皮材はプラスチックフィルム技術、加飾技術、接着技術の3つが必要なので、これらの同業種間および異業種間で、新たな協力関係や交流が数多く誕生し、顧客・装置メーカー・素材メーカーの3者が協力しながら新製品を開発するという新しいビジネスモデルを構築した。

